

平成 30 年度事業計画書

(平成 30 年 2 月 1 日から平成 31 年 1 月 31 日まで)

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 118 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。

日時 平成 30 年 4 月 5 日～7 日

場所 東京国際フォーラム・JP タワー ホール&カンファレンス（東京都）

参加予定者数 15,000 名 演題予定数 2,800 題

テーマ 「外科学の新知見を求めて：In search of new knowledge for surgery」

- ・学術集会の在り方を検討する。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を策定し，周知する。

②機関誌，論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する（通常号は電子ジャーナルとして発行し，希望により配本する）。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 30 年 3 月 1 日	119	2	7,000
平成 30 年 3 月 15 日	119	臨時増刊 1	38,100
平成 30 年 3 月 15 日	119	臨時増刊 2	38,100
平成 30 年 5 月 1 日	119	3	7,000
平成 30 年 7 月 1 日	119	4	7,000
平成 30 年 9 月 1 日	119	5	7,000
平成 30 年 11 月 1 日	119	6	7,000
平成 31 年 1 月 1 日	120	1	7,000
平成 31 年 1 月 15 日	120	臨時増刊 1	39,000

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 30 年 2 月 1 日	48	2	40,000
平成 30 年 3 月 1 日	48	3	40,000
平成 30 年 4 月 1 日	48	4	40,000
平成 30 年 5 月 1 日	48	5	40,000
平成 30 年 6 月 1 日	48	6	40,000
平成 30 年 7 月 1 日	48	7	40,000
平成 30 年 8 月 1 日	48	8	40,000
平成 30 年 9 月 1 日	48	9	40,000
平成 30 年 10 月 1 日	48	10	40,000
平成 30 年 11 月 1 日	48	11	40,000
平成 30 年 12 月 1 日	48	12	40,000
平成 31 年 1 月 1 日	49	1	40,000

- ・ Case Report 誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行する。

発行年月日	巻
平成 30 年 2 月 1 日	4
平成 30 年 3 月 1 日	4
平成 30 年 4 月 1 日	4
平成 30 年 5 月 1 日	4
平成 30 年 6 月 1 日	4
平成 30 年 7 月 1 日	4
平成 30 年 8 月 1 日	4
平成 30 年 9 月 1 日	4
平成 30 年 10 月 1 日	4
平成 30 年 11 月 1 日	4
平成 30 年 12 月 1 日	4
平成 31 年 1 月 1 日	5

- ・ 外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊する。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行う。
- ・ Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Program (ISTP) に参加する。
- ・ 日本医学会、日本医学会連合、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・ 外科系 18 学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。
- ・ 外国人若手医師を受け入れる研修制度の仕組みを検討する。
- ・ 「2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体」に参画する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・ 標準手術ビデオを 5 本作成して、ビデオライブラリーに収載する。
 森 正樹（大阪大学）
 中村 清吾（昭和大学）
 伊達 洋至（京都大学）
 金子 弘真（東邦大学）
 窪田 正幸（新潟大学）

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第 4 条第 5 号）

- ・ 外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。
- ・ 日本専門医機構と協働して、わが国の新しい専門医制度の運用のために、「外科領域専門研

- 修プログラム」を審査し、専攻医の研修登録を行うと共に、専攻医の研修状況を管理する。
- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催し、また、E-learningを構築する。
 - ・外傷講習会を開催し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化する。
 - ・厚生労働省からの補助金を得て、「外傷外科医養成研修事業」として、テロ災害などの傷病者の診療に関わる外科医の資質と技能の向上を図る。
 - ・「日本における外科研修の現状に関する全国アンケート調査」の分析結果を公表する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り、該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・第20回臨床研究セミナーを下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 平成30年4月7日
場所 東京国際フォーラム（東京都千代田区） 参加予定者数 500名
- ・第21回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共催で下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 平成30年11月中
場所 東京都内 参加予定者数 500名
- ・第25回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰する（5名）。
- ・Surgical Case Reports 優秀論文賞を表彰する。
- ・第118回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給する。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の補助金を支給する（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給する（5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨るNCDデータを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務める。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第93回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。
日時 平成30年4月7日
場所 東京国際フォーラム（東京都千代田区） 参加予定者数 1,000名
テーマ 「医工連携」
- ・第94回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。
日時 平成30年11月中
場所 東京都内 参加予定者数 1,000名
テーマ 「（仮）周術期管理のガイドライン（多臓器の術後合併症の予防）」
- ・第26回生涯教育セミナーを下記のとおり行う。
テーマ 「最新の診断技術」

(北海道地区)

日時 平成31年1月中

場所 札幌市内 参加予定者数 100名

(東北地区)

日時 平成30年9月8日

場所 仙台市内 参加予定者数 100名

(関東地区)

日時 平成30年9月15日

場所 ヤクルトホール(東京都港区) 参加予定者数 100名

(中部地区)

日時 平成30年9月15日

場所 富山市内 参加予定者数 100名

(近畿地区)

日時 平成30年5月19日

場所 大阪国際交流センター(大阪市) 参加予定者数 100名

(中国四国地区)

日時 平成30年9月7日

場所 広島県医師会館(広島市) 参加予定者数 100名

(九州地区)

日時 平成29年5月12日

場所 電気ビルみらいホール(福岡市) 参加予定者数 100名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行う。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供(定款第4条第8号)

- ・National Clinical Database(NCD)に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン(Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine)」に基づくサージカルトレーニングの普及を図る。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発(定款第4条第9号)

- ・広報活動として、第44回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
日時 平成30年4月8日
場所 コングレスクエア日本橋(東京都中央区)
テーマ 「がんと手術～治療最前線～」

⑩医療政策に関する建議(定款第4条第10号)

- ・外科系学会社会保険委員会連合(外保連)に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・「医療事故調査・支援センター」(日本医療安全調査機構)の支援団体として、死因の調査

分析事業に協力する。

- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力する。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、日本麻酔科学会と定期的に懇談する。
- ・日本女性外科医会と協働で、女性医師支援のためのアンケート調査などを行う。
- ・外科医の適正数について検討し、初期臨床研修における外科の必修化や、外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第11号）

- ・役員を選任する。
- ・財務の健全化に向けて検討を行う。
- ・システムサーバーやオンラインサービスなどの内容の見直しを行い、委託業者を選定する。
- ・第120回定期学術集会での記念式典の開催について検討を行う。
- ・厚生労働省補助金事業の「平成30年度外傷外科医養成研修事業」の実施者として申請する。
- ・事務所の移転に向けて検討を行う。